



NPO 法人 京都観光文化を考える会

都草だより

第30号
 発行人：坂本孝志
 編集人：西野嘉一
 発行所：京都市上京区
 下立売通新町西入
 京都府庁旧本館2階
 電話：075-451-8146

第 9 回都草通常総会を終えて



はじめに、平成 27 年 5 月 26 日に開催されました、第 9 回都草通常総会の全議案が満場一致で承認されましたことを皆様にご報告申し上げます。

さて、平成 19 年 4 月に都草の設立総会が開催されてから 9 年の歳月が流れました。高橋副理事長の事業報告にありましたように、多岐にわたる都草の活動は、

その一つひとつに会員の皆様の京都に対する熱い思いが込められています。

歴史・観光ガイドや各種の講座のご依頼が多いのも、正に会員の皆様の豊富な知識と熱意が認められているからだと思えます。これらは受託事業として都草の財政運営の支えにもなっています。また一方、美化活動・京都御苑歴史散策ツアー・祇園祭大船鉾支援のようなボランティア活動も活発に行っております。

都草はこういった全体のバランスを保ちながら、会員の皆様とともに自由に楽しく活動できる場を今後も創出していきたくと思っています。

さらに、平成 27 年度の事業計画では「“双京構想”の市民への啓蒙活動」という大きな目標を掲げました。本計画につきましては、会場から懸念される声もございました。このようなご意見も考慮しつつ、京都の観光・文化に深く関わる NPO 法人として、社会的な役割を担っていきたくと考えております。(理事長 坂本 孝志)



老松主人 太田 達氏

5 月 26 日 (火)、ひと・まち交流館 京都において第 9 回都草通常総会が開催されました。第 1 部では、和菓子の老舗「老松」の主人であり、茶人でもある太田達氏による「門跡寺院 五本線の築地」の演題でお話をいただきました。

この後休憩をはさんで小松理事の司会のもと、中江理事が議長に坂本理事長と鹿田理事、議長の 3 名が議事録署名人に選任され、総会の開会が宣言されました。まず初めに松枝副理事長から本日の総会の議決権を有する会員総数が 367 名、本日の出席者数は 85 名、委任状数は 171 名の報告があり、定款 27 条に定めた総会成立条件である定足数 184 名を満たしており総会が成立することが確認され、以

下 5 件の議案について担当理事より説明がなされました。

第 1 号議案	平成 26 年度事業報告	高橋副理事長
第 2 号議案	平成 26 年度活動計算書の報告	藤井理事
	平成 26 年度監査報告	林監事
第 3 号議案	平成 27 年度事業計画 (案)	坂本理事長
第 4 号議案	平成 27 年度活動予算 (案)	高橋明俊理事
第 5 号議案	任期満了に伴う役員選任の件	高橋副理事長

そして議案に対する質疑応答の後、これらはすべて全会一致で可決承認され審議は終了し、議長の閉会宣言により 16 時 30 分の定刻前に総会は無事終了いたしました。

来年度はいよいよ創立 10 周年を迎えます。皆様のより一層のご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

(理事 西野 嘉一)

◆◇ 旧議場の公開にあたって ◇◆



都草の事務所が置かれている京都府庁旧本館は、昨年竣工 110 年を迎えました。平成 16 年に重要文化財に指定されて以降、旧議場の修復整備が進められ、沢山の方々のご尽力を得て今年の 10 月に第 1 期工事が終わり、真っ白な漆喰壁と 60 席の議員席等が戻ってきました。

11 月 15・16 日の両日には、旧議場がお披露目され、理事長と西野広報部長による説明会も開かれ、大勢の人が見学にみえました。現在は、知事室・正庁と共に火曜日から金曜日と土曜日は第 1 第 3 第 5 週の 10 時から 17 時に公開されています。

お勧めは、議長席上のすのこ型天井を支えるように取付けられている「もちおくり」です。アカンサスがデザインされた綺麗な漆喰の装飾で一見の価値ありです。このもちおくりは全部で 4 か所ありますが、工事前は西側の 1 か所だけが残っており、この西側の明治期より残るもちおくりから、無くなっていた 3 か所が復元されています。天井への当時の接着方法は不明ですが、今回復元されたものは糊や竹や銅線等を用いて現代の技術で留められています。このように旧議場は、至る所に現代の匠の技と明治期の匠の技が融合し共存した特別な空間になっています。また、この後の 2 期工事では傍聴席やカーテンが復元され、シャンデリアが取付けられると豪華な創建当時の姿が甦ります。その日を心待ちにしながら、後世に引き継ぐ財産であるこの議場を大切にご案内していきたいと思っています。是非、覗いてみて下さい。

ここだけの話ですが、旧議場の中に見立て富士や向こう側が透けて見えるすり硝子があります。

(会員 藤川 由美子)

◆◇第 14 回 文化交流会「私のお宝」 ◇◆



3 月 4 日 (水)、ひとまち交流館京都の 2 階和室で開催。参加者 34 名。お宝展示者は 10 名。お譲り提出者 4 名。昔懐かしい駄菓子を頂きながら午前 10 時から午後 4 時まで大いに盛り上がった。展示されたお宝の品物は、(1) 親族等が保有されていたもので漆器類、古時計等 (2) 個人の趣味や勉強の為に購入されたもので古地図、朱印帳、水晶等。特に、山本喜康会員が出展された江戸期の京の木版古地図 (11.8m×1.5 m) は圧巻で、多くの参加者が注目した。

(会員 木村 哲夫)

◆◇ 京都検定 1 級合格者の紹介 ◇◆



「まずは“京都“に惚れ抜き、五感でひたすらホンモノに触れることが合格の近道！」

私は京都生まれの京都市育ちで、京町家で友禅染の図案を描く祖父や謡曲を教える父などの影響も受けつつ、千年の歴史の上に今も伝統的な生活文化が息づく“京都”に惚れ込んでいます。京都検定 1 級への初挑戦に備え、漢検の準 1 級、京都市隣接のご当地検定 (大阪・奈良・滋賀・但馬・丹後・亀岡・小浜) 等の外堀を 10 年越しで埋めてきました。昨年 4 月に「都草」に入会し、京都御苑、祇園祭の後祭、花背の火祭、京都府庁見学など現地のホンモノに触れることで知識の定着を図り、135 点で合格することができました。1 級合格は更に深い“人脈づくり”及び“京都通”へのスタートと考え、今後も街角散策及び全国小京都巡りなどに励んでいきたいと思っています。(会員 松澤 宏樹)